



進む！ 外国資本による不当な土地の爆買い！

法律を制定する署名活動にご協力を！

北海道の現状

自衛隊基地周辺、水源地近く、また、用途不明な広大な土地の爆買いが進んでいます。

自衛隊基地周辺、水源地近く、また、用途不明な広大な土地の爆買いが進んでいます。

水源地、農地、太陽光発電パネルの設置により、電気を確保し、水と、農地で食料をつくり、ある程度の自立した生活圏を確保できるので、将来、大量の中国人入植者の受け入れ拠点になるのではないかと危惧する声が、周辺住民より、あがっております。

しかしながら、日本では、外国資本の土地購入に対して規制がなく、土地の爆買いが進んでいます。

海外では？

米国の場合、外国資本による爆買いが、安全保障や公共の利益を害すると判断されれば、大統領の判断で取引を停止、国が強制的に審査する制度もあります。

他の多くの国でも、外国資本に対する土地の売買を禁じていたり、規制をかけたっています。

外国資本による土地の買収は、自国の治安や安全保障に直結するため、何らかの規制があるのが、主権国家の常識です。

対応策

日本の（外国資本による土地買収に対する）規制は不十分（極まりない）ため、国民の生命、財産、安全を守るために、早急に、法律を制定していく必要があります。

北海道の大地が中国資本に買収されている (ザ・リパティ 2018年6月号 39ページ)

